



震度5以上の大地震 初期行動ガイド

保存版

各家庭

- ①身を守る行動をとる
- ②火元の確認、被害を確認する ➡ 火災発生：初期消火実施
- ③被害がない場合、安否確認旗（黄色い布）を掲げる ➡ 在宅避難
- ④隣近所に声をかけ、被害を確認する ➡ ケガ人がいる場合は救助



被害あり
危険あり

一時避難場所に行き一時待機



家で生活
できない

組長の指示の下、避難者を指定避難所（平成小）へ



ケガ人発生

隣近所で救助できない場合、班長・組長に救援要請



・組長（地区委員）は一時避難場所にいます

防災倉庫内の救助の道具を使い救助活動実施



・更に援助が必要な場合、防災リーダーに救援要請

ケガ人を一時避難場所か安全と思われる場所に運び、待機

有事の時の組長、班長不在の場合
居合わせた人達で対応



注) ・一時避難場所は一時的に避難する場所で、新町には5ヶ所あり（朝暮公園、狩野公園、一ツ木公園、浜場公園、あさぶ公園）
・各一時避難場所には防災倉庫があり、救助の道具や移動支援に使う車椅子などが保管されています

我が家の防災

2023.07.15発行
前年度一丁目地区委員 宮本

【我が家の事情】

今年度の自主防災会の副代表ですが…我が家は諸事情により、いまだ旧耐震基準の住宅です。そのため、家具の地震対策を重視…最低限、自分でやれる事を施しました。

1. 家具類の転倒&飛出し防止

背丈の高い家具すべてを、市販されている金具を使ってDIY

①家具の固定



和室の家具は上下を結合させ柱に、また洋室の家具は壁に

②冷蔵庫の固定



サイズが合わなくなった皮ベルトを

2. 食器や小物の落下&飛散防止

市販されている地震対策グッズを、家具に合わせてチョイス

①頻繁に開閉するガラス扉は自動ロック



参考) DCMで2個入り 1,628円

②頻度が少ないガラス扉は手動ロック



参考) DCMで1個入り 638円

3. その他

気になるのは家族の安否、非常食は好みの乾麺、最低限必要なモノを持出す

①グループLINE



②日常食を多めに早めの補充



倒壊した家から、どう持ち出すかが課題か

床下収納に



③発電機能付きラジオ照明



電池切れても
手で回せば充電

安否確認旗もリビング出口に